

パティシエ・鎧塚俊彦氏率いる「トシ・ヨロイツカ」が、 OICグループに参画。「パンやスイーツはもっと進化できる」



スーパーマーケット「食生活♥♥ロピア」などを展開する株式会社OICグループは、2024年10月15日、日本屈指のシェフパティシエ・鎧塚俊彦氏が代表をつとめる株式会社サンセリーテ（トシ・ヨロイツカ）と株式譲渡契約を行い、サンセリーテがOICグループへ参画しました。

OICグループは、世界の人々が食を通じて楽しい体験をする「食のテーマパーク」の実現を目指して、生産から貿易・卸・小売・外食まで一貫した「食品総合流通業」を展開しています。この度、鎧塚氏の「人々に喜んで頂けるおいしいお菓子を作り続ける」という目標とOICグループの目指す世界観が一致し、参画に至りました。

鎧塚氏は、パティシエの第一人者として活躍してきただけでなく、世界初となる畑から提供まで一貫した自社生産のショコラ作りを目指してカカオ農園をエクアドルに開設するなど、新しい挑戦をしています。鎧塚氏の経験・技術・アイデアと、OICグループが展開する多様な食に関する事業を組み合わせることで、例えば鎧塚氏とグループ内の沖縄マンゴー農園で作るスイーツ店、家庭で作れる本格パティスリーレベルのスイーツキット、スイーツとワインのマリアージュを楽しむバーなど、画期的な商品・サービスを生み出していくことが期待されます。

今後2社は、「食を通じて世界の人々の生活を楽しくする」というコンセプトのもと、ともにアジアを目指します。

日本屈指のパティシエ・鎧塚俊彦氏が率いるサンセリーテが、OICグループに参画

スーパーマーケット「食生活♥♥（ラブラブ）ロピア（以下、ロピア）」をはじめ、食の総合流通業を展開する株式会社OICグループ（以下、OICグループ）は、2024年10月15日、日本屈指のシェフパティシエ・鎧塚俊彦氏が代表を務める株式会社サンセリーテ（ブランド名：トシ・ヨロイツカ、以下、サンセリーテ）と株式譲渡契約を行い、サンセリーテがOICグループへ参画しました。

OICグループは「食品総合流通業」として、食品専門スーパーマーケット「ロピア」をはじめ、生産・製造、貿易・卸、小売、外食まで幅広い事業を展開しています。そして、多様な事業を展開し、組み合わせることでシナジーを生み出し、人々が食を通じて楽しい体験をする「食のテーマパーク」の実現を目指しています。既に29社（サンセリーテ含む）がグループ会社になっており、2031年度にはグループ会社100社、国内外合わせて売上高2兆円を目標としています。

この度、鎧塚氏の「人々に喜んで頂けるおいしいお菓子を作り続ける」という目標と、OICグループの「食を通じて世界の人々の生活を楽しくする」という目標・世界観が一致し、参画に至りました。

パティシエの第一人者であり、素材と味へのこだわりから、自らショコラ作りのためにカカオ農園をエクアドルに作るなど、新たな挑戦をし続けてきた鎧塚氏。多様な食に関する事業を展開するOICグループに参画することで、画期的なパンやスイーツの商品・サービス・事業を生み出すことが期待されます。

カカオ農園作り、農家との連携、地域活性化。妥協なく「おいしいスイーツを届ける」 鎧塚俊彦氏

今回、OICグループに参画するサンセリーテ代表の鎧塚氏は、優れた技術と素材や味へのこだわりから人気を博すだけでなく、パンやスイーツ業界で新しい挑戦をし続けてきたことでも知られています。

ヨーロッパで修業を積み、三ツ星レストランで日本人初のシェフパティシエを務めた後帰国し、2004年、東京・恵比寿に出来たてのスイーツを提供する「Toshi Yoroizuka」をオープン。その後は、スイーツ店にとどまらず、お客さまの目の前でスイーツを仕上げるカウンターデザート店「Toshi Yoroizuka Mid Town」を開設しました。また、世界初となる、畑から提供まで一貫した自社生産のショコラ作りを目指して、南米エクアドルにカカオ農園「Toshi Yoroizuka Cacao Farm Ecuador」を開設するなど、より多くの人においしいものを届けるために、妥協なきアプローチを続けてきました。

2011年には、小田原市・石垣山山頂に、2,000坪以上の農園を併設したレストラン&パティスリー「一夜城 Yoroizuka Farm」をオープンするなど、スイーツを通して、農業と地域の活性化にも尽力しています。



▲南米エクアドルのカカオ農園「Yoroizuka Farm Ecuador」を作った時の様子

「パンやスイーツはもっと進化できる」鎧塚氏とOICグループの連携で、業界に革命を起こす

「店舗のオープンや家庭のホームベーカリーで、プロのパティシエが作ったような高いクオリティーのパンやスイーツを焼いて食べることもできるはず。パンやスイーツはもっと進化できる」

このように、パン・スイーツの世界に新しい革命を起こす意気込みを語る鎧塚氏。スイーツ界で挑戦を続けてきた鎧塚氏の経験・技術・アイデアと、OICグループの一次産業から小売・外食まで一貫した食に関する事業を組み合わせることで、今までになかったパンやスイーツの商品・サービス・事業を生み出すことが期待されます。

<新たな事業展開（案）>

- ・ 「トシ・ヨロイツカ」のアジアへの事業拡大／展開
- ・ OICグループが持つ沖縄マンゴー農園と鎧塚氏が連携して作るスイーツ店の展開
- ・ 鎧塚氏とブドウ農園の連携による、素材・熟成にこだわったワインのプロデュース
- ・ 家庭で作れる本格パティスリーレベルのスイーツキットの販売
- ・ ロピアなどの店舗で焼く、専門店顔負けのパンやデニッシュの提供
- ・ スイーツとワインのマリアージュを楽しむバーの展開
- ・ OICグループの外食店における、鎧塚氏プロデュースのスイーツの提供
- ・ 「一夜城 Yoroizuka Farm」のさらなる拡張

その他にも、OICグループに参画する食に関する多様なグループ企業や事業とも連携し、人々の既成概念をくつがえし、生活を楽しむパン・スイーツ事業を展開していく予定です。



▲OICグループが持つ沖縄の農園で育てたマンゴー

鎧塚氏メッセージ：スイーツ職人の選択肢を増やし、次世代につなげる

私がヨーロッパで修業をして帰国後、自分のお店を開いてちょうど20年が経ちます。これまで、技術や素材の探求のみならず「よりおいしいものを召し上がっていただきたい」という一心で、地域や農園の方々との連携、カウンターデザートのお店作り、エクアドルのカカオ農園の開設などさまざまなアプローチをしてきました。

今回のOICグループへの参画は、パンやスイーツを通じて、お客さまへ感動と喜びを届けるための更なる進化の機会だと感じています。

OICグループは「作るから売るまでを一貫して手がけることでお客さまに満足いただける品質の商品・サービスを提供する」をモットーとしています。そして第一次産業への造詣が深く、アジアへの展開など、サンセリーテとの目標が共通しています。そのなかで10年後20年後、そしてその先も、お互いのより一層の繁栄のためにOICグループへ参画することを決断しました。以前より取り組みたかったワインバーの開設などサンセリーテだけでは難しい、もしくは実現に時間がかかる事業展開の道も開けます。

さらに今回の参画は、次世代の職人の生き方の選択肢を広げることにもつながります。現在私の弟子は、卒業生を含めて数百人います。私流の職人としてのこだわりを伝えてきましたが、「おいしいものを作ってお客さまに喜んでいただく」という本質からそれなければ、時代に合わせていろいろな選択肢があって良いと思います。例えば、OICグループが生み出す新しい業態のスイーツ店で働くという選択肢があっても良い。参画することでスイーツ職人の選択肢を増やし、次世代につなげることができるのです。これが「職人」という存在と技術を、守り続けることにもつながると思います。

なお、鎧塚俊彦の代表取締役シェフの存在は従来と変わりなく「お客さまに喜んでいただける菓子作りと店作り」「職人氣質を残しながらの時代に合った経営と働き方改革」や「第一次産業と地域の活性化」「料理人（菓子職人、サービス含む）としての人材と文化の継承」などのライフワークは変わりなく継続していきます。

新たな可能性に挑戦できるのは、食に関する多様な事業体を持ち、「食を通じて世界の人々の生活を楽しくする」という目標を掲げるOICグループだからこそ。ともにアジアを目指せることを楽しみにしています。



▲職人という存在と技術を弟子たちに伝える鎧塚氏

スイーツ界を進化させ、ともに世界で「食のテーマパーク」の実現を目指す

OICグループは「食のテーマパーク」の実現を目指しています。「食のテーマパーク」にスイーツの存在は欠かせません。スイーツは、誕生日や結婚式などのお祝い事をはじめ人々の生活に欠かせませんが、商品・提供のされ方にはまだまだポテンシャルがあると思います。高い技術と豊かなアイデアを持つ鎧塚氏と、生産から貿易・卸・外食まで一貫した「食品総合流通業」を展開するOICグループがシナジーを発揮すれば、既存の枠にとらわれないスイーツの楽しみ方を、多くの人に提供できるはずです。

今後OICグループとサンセリーテは、ともに、国内にとどまらず世界の人々に、食・スイーツを通じて、楽しい、そしてうれしい体験を提供し、より平和で豊かな世界の実現を目指します。

■株式会社サンセリーテ（トシ・ヨロイツカ）について

商号：株式会社サンセリーテ（トシ・ヨロイツカ）
本社：東京都中央区京橋2丁目2-1 京橋エドグラン1F
設立：2006年9月26日
代表取締役： 鎧塚俊彦
事業内容： 洋菓子の製造・販売、パティスリー、農園運営

■シェフパティシエ・鎧塚俊彦氏について

1965年、京都府宇治市生まれ。関西のホテルで修業後、渡欧。スイス、オーストリア、フランス、ベルギーでさらに8年間修業を積む。ヨーロッパの三ツ星レストランで日本人初のシェフパティシエを務めた後、帰国。2004年、恵比寿にて出来立てのスイーツを提供する「Toshi Yoroizuka」をオープン。その後、六本木にお客さまの目の前でスイーツを仕上げる14席のカウンターデザート店「Toshi Yoroizuka Mid Town」、杉並区の八幡山駅近くに「Atelier Yoroizuka」を開設。また、世界初となる、畑から提供まで一貫した自社生産のショコラ作りを目指し、南米エクアドルにカカオ農園「Toshi Yoroizuka Cacao Farm Ecuador」を開設した。長年の夢を実現し、2011年には小田原市・石垣山山頂に2000坪以上の農園を併設したレストラン&パティスリー「一夜城 Yoroizuka Farm」をオープン。スイーツを通して、農業と地域の活性化に尽力中。また、2014年よりロカボ（低糖質）スイーツを専門にした、Toshi Healthy Sweetsを展開している。現在、東京京橋にて、ワインなどのお酒とスイーツのマリアージュなどを楽しめる「Toshi Yoroizuka TOKYO」も展開する。

■OICグループについて

「おいしい」「たのしい」体験を、世界に届ける食品総合流通業を目指すOICグループは、1971年に精肉専門店として創業し、他の生鮮食品も取りそろえるスーパーマーケットに事業を拡大しました。さらに現在では、小売事業の枠を超え、生産・製造事業、貿易・PB・卸事業、外食産業まで展開し、幅広い事業を通じて、「おいしい」「たのしい」体験を、世界に届ける「食のテーマパーク」を目指しています。日本国内のみならず、アジアで事業を拡大し、2031年度までに、売上高2兆円の実現を目標にしています。

商号：株式会社OICグループ
本社：神奈川県川崎市幸区南幸町2丁目9番地
設立：1971年4月28日
代表取締役： 高木勇輔
売上高： 4,126億円（2024年2月期）
事業内容： 食品スーパーマーケット・食肉専門店・外食店舗の運営、肉加工品・パン・惣菜・調味料などの製造・販売、食肉・青果物の生産・販売、生鮮品・加工食品・酒の輸出入・卸
店舗数： 食品スーパーマーケット「ロピア」は全国17の都道府県と台湾で計103店舗（2024年10月23日現在）。首都圏を基盤としながらも、大阪や京都などの関西圏、さらに中部圏でも展開し、2023年には九州エリア、東北エリアへ進出。2024年3月には沖縄県への出店、8月に青森県、11月には北海道への出店を行う。